



先生のおすすめ絵本

ざりがにのおうさま まっかちん

〈作〉大友康夫 〈出版〉福音館書店



主人公ののぞみの保育園の近くには沼があり、そこには“まっかちん=ザリガニ”が住んでいます。のぞみは一人だけまっかちんがちっとも釣れません。どうしたら釣れるようになるか、友達や先生も一緒に考え、のぞみを応援してくれます。ですが、なかなかうまくいきません。それでも諦めないのぞみは言います。「わたしはじぶんでつったまっかちんがほしいんだ!」。家族で沼に釣りに行ったり、保育園で飼っているザリガニで釣る練習をしたり頑張り続けるのぞみ。そして、とうとうある日…とんでもない展開に。この本を読んだも組の子ども達も「わー!!!」と驚きと感動の声をあげました。もうすぐザリガニ釣りを控えたも組で、読み終わった後“ザリガニ会議”を開きました。すると「えさはさきいかがいいかも!」「じっとまつよ! つれるまで!」「きょうかられんしゅうしておかなきゃ!」など次々に子ども達の方から声があがってきたのです。ザリガニ釣りをした事がない子ども達でも、のぞみに自分を重ね、物語に入り込んで聞いてくれたのだなと感じた瞬間でした。

ザリガニ釣り当日には「まっかちんつるぞ!」と大張り切りの子も達でしたよ!ザリガニ釣りの楽しさと子ども達が夢中になる魅力が詰まった一冊です。是非読んでみてはいかがでしょうか?

<もも組 I先生>

おでかけのまえに

〈作〉筒井頼子 〈絵〉林明子 〈出版〉福音館書店



今日は日曜日、そしてあやこが楽しみにしていたピクニックに行く日。朝ごはんを食べながらあやこはいいことを思いつきます。しかし…大変!!お出かけの準備で忙しく動き回るお母さんとお父さんの前で思いもよらない光景が次から次へと繰り広げられ…。

幼稚園での生活にも慣れて、より楽しめるようになってきたこばと組の子どもたち。クラスでも“先生のおてつだい”が大人気で、この絵本のあやこのように一生懸命担任の手伝いをしてくれます。心の中で「あ〜!それはやらなくて大丈夫!!」と思うこともあります。せっかくの子もたちの気持ち、ありがたく受け取っています。

今の自分たちの状況と重なることもあり「○○ちゃんもおうちでおてつだいしてる!」「○○くんは昨日ね、こんなおてつだいたよ!」と共感しながら楽しんでいる1冊です。

<こばと組 O先生>

読み聞かせノートより

10+1びきのかえる

〈作〉間所ひさこ
〈絵〉仲川道子
〈出版〉PHP研究所



ある日やってきた女の子がえる、家に帰れなくなっちゃったとシクシク泣いています。10びきはこの女の子を助けてあげたいと、力を合わせて冒険の旅に出ます。困難を乗り越えてその先には…。かえるたちの頑張り、背中をポンと押されるお話です。

<ふじ組 Y>

からすのおかしやさん

〈作〉かこさとし
〈出版〉偕成社



からすのパンやさんの子ども達が大人になっておかしやさんを開くお話です。少し長くて難しいかなと思いましたが、おいしそうなお菓子やケーキ、和菓子がたくさん出てきて「おいしそう!」と声もでて飽きることなく聞いてくれました。お菓子の種類がどんどん増えるので、ページをめくることが楽しくなる一冊です。

<もも組 I>

※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。



編集後記

ブレーメンでは毎年秋まつりで「古絵本市」を行っており、その収益で会を運営しています。例年、秋まつり前に皆さんに古本の回収をお願いしていますが、いつでも気軽に寄付していただけるよう、今年は6月から毎週火曜日 絵本の部屋の貸出日に、古本入れを設置しています。皆様のご協力、よろしくお願いたします。

<さくら組 E>